

## 平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

**※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。**

### 1. 学校概要

学校名 白石市立白石第一小学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
住所 〒989-0259  
宮城県白石市字半沢屋敷前2の2  
E-mail : [info@shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp](mailto:info@shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp)  
Website : <http://shiroishi1-e.shiroishi-c.ed.jp>  
児童生徒数：男子 235名 女子 200名 合計 435名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 担当者 ※公表しません

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ 地域教育 ）

### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

## 1 環境教育

### (1) 白石城へ行こう（1年） 春のまちを歩こう（2年）

たのしさいっぱい あきいっぱい（1年） 親子まちたんけん（2年）  
白石城のある益岡公園へ行き、春や秋の自然、動植物への関心を高めた。白石城の見学により、伝統・歴史教育、地域教育のねらいもあわせて実施した。

### (2) 白石の環境問題を調べよう（4年）

本校に設置されている太陽光発電システムとともに、白石の環境問題についての学習に取り組んだ。課題を見つけ、グループで課題解決し、発表会を実施した。

### (3) 人と環境（6年）

人と環境のかかわりや環境を守る活動等について、一人一人が学習し調べたことをレポートにまとめた。理科の教科書を基本としながら、自分の調べたい課題を設定し、課題解決学習に取り組んだ。環境問題に対して自分ができることなどを調べることにより、環境を守ろうとする意欲を高めた。

### (4) アルミ缶回収

環境教育及び福祉教育の一環として、アルミ缶回収に取り組んだ。ボランティア委員会とPTA環境専門委員が中心となり、年に2回実施した。児童はもちろんだが、地域の商店等からもアルミ缶が集められた。その収益金により、白石市内の福祉施設に車椅子を贈呈している。この活動は、10年以上前から続けられている。

### (5) みどりの少年団

希望児童40名が登録し、自然を大切に作る心を育てている。

白石市内での募金活動（緑の羽募金）を行うとともに、サツマイモの苗植え、収穫そして収穫祭を行っている。また、プランターに花苗を植え、校内の緑化活動にも取り組んでいる。7月のみどりの少年団宮城県大会に17人が参加した。

## 2 国際理解教育・外国語活動

### (1) 国際理解教育（1～4年）

低学年は、自国や他国への関心を高めることをねらいとして行った。中学年は、自国や他国の文化・言語に親しむことをねらいとして行った。担任とALT、学校支援ボランティアの指導や補助により、活動の楽しさを味わった。

### (2) 外国語活動（5・6年）

外国語を通じて積極的にコミュニケーションを図り、自国や他国の文化・言語に親しむことをねらいとして行った。年間35時間のうち、各学級22時間はALTや学校支援ボランティアの協力により授業を行った。ゲームや歌では体を動かしながら英語に親しみ、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わった。

## 3 伝統・歴史教育、地域教育

### (1) わたしたちの学校をしょうかいしよう（3年）

学校の歴史や特徴について調べ、学校や地域を愛する心につながる学習である。「歌の歌詞の意味について調べよう」など、子どもた

ちはグループごとに課題をもち、それを解決する学習に取り組んだ。

(2) ふるさと白石じまん（3年）

「白石三白」（和紙、温麺、くず）の中から温麺を選び、作られるようになった歴史等について調べた。そして、温麺工場を訪ね製造工程を見学し、白石の特産品に愛着をもった。

(3) 伝統文化体験学習（4年）

白石市の施設「碧水園」を見学するとともに、茶道、日本舞踊を体験した。日本の伝統文化に触れ、実際に体験することで、伝統文化への理解を深めた。

(4) 白石の文化を調べよう（5年）

「白石三白」（和紙、温麺、くず）などの白石に伝わる文化に関心をもち、課題解決学習への意欲を高めた。「こけし」「和紙」「温麺」の3つのグループに分かれ、それぞれ、こけし館、和紙工房、温麺工場の見学や体験を通して、自分たちの課題の解決に取り組んだ。グループごとに調べたことをまとめ、授業参観で保護者に向けた発表会を行った。

(5) 白石の歴史に学ぼう（6年）

5月に白石市内での自主研修を行い、7月の修学旅行では、会津若松市での自主研修を行った。白石の歴史、会津若松の歴史を調べ、比べることにより、白石の歴史への関心と理解を一層深めた。

(6) ウォーキングラリー（子ども会育成会活動）

子ども会育成会役員と育成会担当教員が中心となり、実施している。今年度で11年目である。今年度は70名が参加した。

市内を8人前後のグループごとに歩き、探検場所を見学したりクイズを楽しんだりした。毎年、コースや探検場所を変えて地域を歩き、地域にある史跡等について学んでいる。また、コース途中の商店で食材の買い物をし、昼食で芋煮を食べる。地域の自治会長や育成会役員が子どもたちの安全面をサポートしながら、積極的に活動している。異年齢による体験活動として、自分たちの地域を知る活動として、とても意義のある活動である。また、「かしこく・やさしく・たくましく」という本校が目指す児童像とも深いかかわりのある活動となっている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）

